

計 装 設 備 維 持 規 格

(2015年12月2日追補)

この追補は、平成24年10月5日に改訂された“計装設備維持規格”2012年版の追補である。したがって、今後、**JPI-8S-5-2012**とは、この追補も含むものとする。

なお、この追補は、石油学会ホームページ上で、該当箇所のみを示す。2015年12月2日の追補は次の1箇所である。

JPI-8S-5-2012の該当頁：96頁（管理番号8S-5-2012 追補01） 2

管理番号8S-5-2012 追補01で追加する II.6 付属書 A 96-1

事例9

件名	ブースターリレー不具合による制御不良
使用条件	流体／使用場所／使用期間 : 計装用空気／用役設備（屋外）／20年 圧力／温度 : 0.7MPa / 外気温
仕様	(材質) 本体／トリム／ダイヤフラム : アルミニウム合金／ステンレス鋼／NBR 供給圧力／設定圧力／最大空気容量 : 0.7MPa / 0.14MPa / 4250L/分
部位	ブースターリレー
事例概要	<p>用役設備ボイラー圧力変換弁において、蒸気使用量の変化に伴い弁が通常時閉から開となった。このとき、ブースターリレーのダイヤフラム破れにより、出力信号の背圧が正常に検知できず、開信号が出続け、弁が全開となり、ボイラーが変動した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="338 622 874 929"> </div> <div data-bbox="963 622 1404 929"> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>
(推定)原因	<p>ゴム製のコントロールダイヤフラムの経年劣化により、硬化して亀裂が生じて内通した。通常運転時閉止であるため、作動頻度は少なく、熱を受けやすい設置環境ではなく、強制劣化要因はなかった。</p>
対策処置	<p>② ダイヤフラム部、空気配管及び接続部からの漏れの確認 ② ブースターリレーのダイヤフラムの裂傷、亀裂などの確認 ③ 経年劣化部品（ゴム製など）がある付属品の検査計画の適正化</p>